

## 4. 推進方策

### (1) アクションプログラム

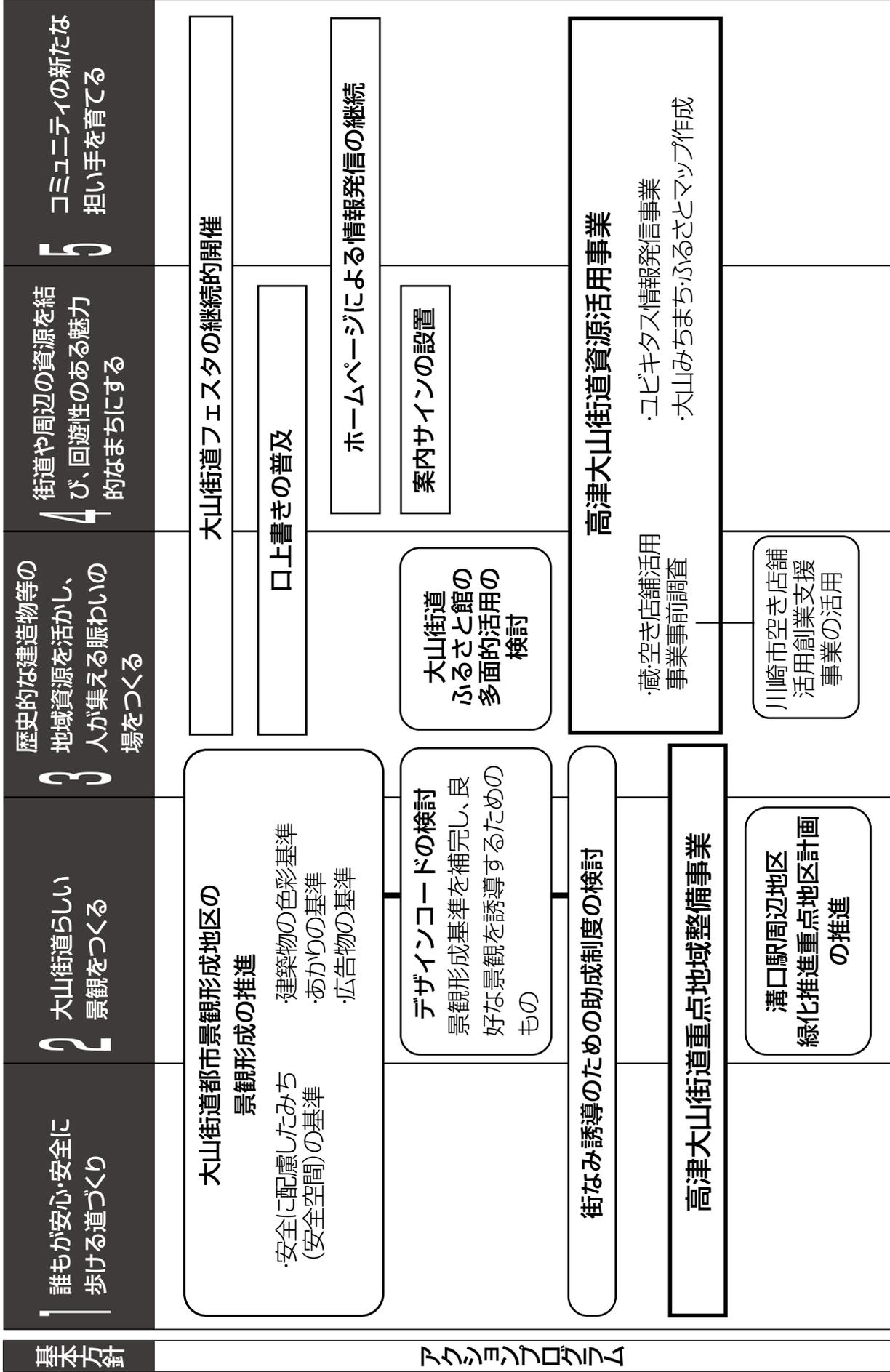
大山街道の将来像及び基本方針を実現するため、具体的な推進方策としてのアクションを計画する。

アクションの実施にあたっては、2009（平成 21）～2018（平成 30）年度の前・後期各 5 年のマスタープランの計画期間及び川崎市新総合計画川崎再生フロンティアプラン実行計画の計画期間を基に、プログラムを作成する。

前期計画の期間となる川崎市新総合計画川崎再生フロンティアプラン第 2 期実行計画期間内の 2 年及び第 3 期実行計画期間の 3 年のうち、当初の 2 年間に短期的なアクションプログラムと位置づける。また、第 3 期実行計画期間の 3 年間については、その事業内容を第 3 期実行計画策定検討の中で、確定するものとする。

各アクションと基本方針との関係は次頁の表に示す。

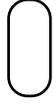
	期間	アクションプログラムにおける位置づけ
前期	2009（平成 21）～ 2010（平成 22）年度	短期的なアクションプログラム 川崎市新総合計画川崎再生フロンティアプラン第 2 期実行計画期間内の 2 年は短期的なアクションプログラムと位置づける。
	2011（平成 23）～ 2013（平成 25）年度	中期的なアクションプログラム 川崎市新総合計画川崎再生フロンティアプラン第 3 期実行計画期間内の 3 年は中期的なアクションプログラムと位置づけ、その事業内容を第 3 期実行計画策定検討の中で、確定するものとする。
後期	2014（平成 26）～ 2018（平成 30）年度	長期的なアクションプログラム



高津大山街道活性化プラン掲載事項



大山街道周辺整備活性化事業



関係局連携事業

**【地域が進めるアクション（高津大山街道活性化プラン掲載事項）】**

<b>地域</b>	<b>大山街道フェスタの継続的開催</b>	短期	中期	長期
		○	○	○

大山街道フェスタは、2004（平成 16）年 2 月に第 1 回を開催し、その後も定期的に開催されている。

今後も、地域が主体となり、大山街道の魅力を伝え、地域コミュニティの交流を図る場として、継続的に開催する。

<b>地域</b>	<b>口上書きの普及</b>	短期	中期	長期
		○	○	-

大山街道の沿道にある各店舗の正面に、その店を紹介する「口上書き」の設置の普及を引き続き進める。

口上書きには商店の歴史、取り扱う商品、店主の商いに対する考え方などを楽しく記述する。これによって、初めての客もその店に気軽に立ち寄ることが期待される。

<b>地域</b>	<b>ホームページによる情報発信の継続</b>	短期	中期	長期
		○	○	○

大山街道活性化推進協議会が 2005（平成 17）年度に設置した大山街道ホームページによる情報発信を継続する。

また、大山街道に面する 2 つの商店街は、それぞれにホームページを持っており、これらのホームページの中でも大山街道に関するさまざまな情報が発信されている。そのため、今後は、このような各種ホームページとも連携をはかり、より充実した掲載内容を追求する。

<b>地域</b>	<b>案内サインの設置</b>	短期	中期	長期
		○	○	○

最寄りの駅から大山街道まで、初めての人も迷わずに誘導できる案内サインの設置を継続的に行う。

案内サインは、大山街道の景観にふさわしい色彩、デザイン、文字などを工夫した統一的なものにする。また、大山街道にちなんだイラストやキャラクターを用い、楽しみながら大山街道に到着できる仕掛けも検討する。

大山街道までの案内サインに加え、沿道に分布する各資源や施設へ誘導する案内サインの設置も検討する。

## 【川崎市が担うアクション】

### 大山街道周辺に対する施策（大山街道周辺整備活性化事業）

川崎市	高津大山街道重点地域整備事業	短期	中期	長期
		○	○	-

重点地域（キラリスポット）※を主な対象として、歩行空間のカラー化等を行う。また、景観行政の取組と連携し、歴史ある街道にふさわしい、より良好な街なみ形成を促進する。

※ 4（2）重点地域（キラリスポット）の設定参照

川崎市	高津大山街道資源活用事業	短期	中期	長期
		○	○	-

#### ① 蔵・空き店舗活用事業

街道に残る蔵や空き店舗の活用を検討するための蔵・空き店舗の調査を行う。また、調査の結果に基づき、川崎市空き店舗活用創業支援事業の活用等も含め、蔵・空き店舗の活用方法や運用方法等の検討を進める。

#### ② ユビキタス情報発信事業

街道の資源をつなぐための情報発信事業を行う。街道沿いの各資源付近に QR コードを設置する等、現地及びその周辺の各種情報を提供することで、街道の回遊性を持たせる。ユビキタス情報発信のための環境構築及び維持管理方法等の検討を行い、先行実験としてまち歩きイベントを開催し、その結果を受け、本格実施に向けた展開を検討する。

#### ③ 大山みちまち・ふるさとマップ作成

消えゆく街道の歴史やふるさとの記憶を今に伝えるとともに、世代を超えた地域交流をはかるため、子どもたちによる「大山みちまち探検隊」を立ち上げ、まち歩きや資料収集、地域のお年寄りなどからふるさとの情報の聞き取り調査を行う。調査結果は、「大山みちまち・ふるさとマップ」としてまとめ、マップを活用した新たなまちづくり活動につなげる。また、このワークショップを実施したことで得られた、地域の貴重な人材やつながりを活かした今後の展開を検討する。

## 全市的に展開する施策の大山街道周辺への適用（関係局連携事業）

川崎市	<b>大山街道都市景観形成地区における</b>	短期	中期	長期
	<b>景観形成の推進</b>	○	○	○

2005（平成17）3月に指定された大山街道都市景観形成地区では、溝口地区で2006（平成18）年1月に、「景観形成方針・基準」が策定され、同2月から都市景観条例第20条に基づく行為の届出を開始している。

今後は、二子地区での大山街道景観形成協議会による景観形成方針・基準の策定の支援を行う。

川崎市	<b>デザインコードの検討</b>	短期	中期	長期
		○	○	○

大山街道都市景観形成地区の景観形成基準を補完し、良好な景観を誘導するために、推奨する色や材質等をまとめたデザインコードを作成し、活用することを検討する。

川崎市	<b>街なみ誘導のための助成制度の検討</b>	短期	中期	長期
		○	○	○

都市景観形成地区において、景観形成に寄与する整備についての助成制度の検討を行う。

川崎市	<b>溝口駅周辺地区緑化推進重点地区計画の推進</b>	短期	中期	長期
		○	○	○

溝口駅周辺地区緑化推進重点地区計画の推進にあっては、大山街道などの歴史的資源が活かされる周辺緑地の緑化を進め、緑と歴史の回遊性を高める。

地域特性を活かした溝口緑地の再整備にあたっては、歴史的街道である大山街道の景観形成に寄与するよう整備を行う。

川崎市	<b>大山街道ふるさと館の多面的活用の検討</b>	短期	中期	長期
		○	○	○

大山街道の中心的な施設として、大山街道ふるさと館の多面的な利用を検討する。

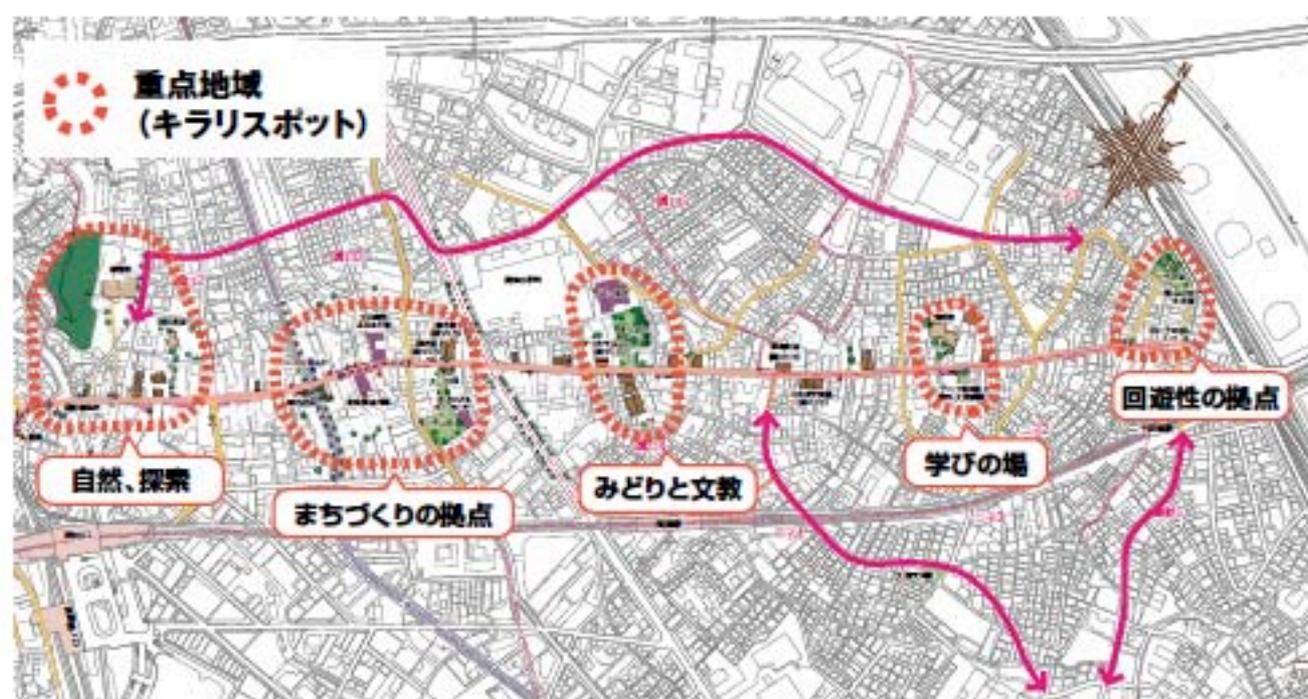
検討は、地域住民のニーズを十分に踏まえ、関係局と横断的な連携のもと行うこととする。

## (2) 重点地域（キラリスポット）の設定

歴史的資源が点在する大山街道だが、点在する資源は、辻や水路などの歴史的または地形的な条件により、一定の固まりになって残っている。

そこで、これらの固まりを重点地域（キラリスポット）と位置づけ、重点的に整備することで、街道らしさの再現を図る。

特に、歴史的資産の商業利用・文化的利用、地域コミュニティの拠点等の運営や管理については、地域の多様な主体が関わることで、地域活性化の原動力とする。



## キラリスポット1 宗隆寺、溝口神社付近 <自然、探索>

宗隆寺、溝口神社付近には、自然やみどりが集積している。

自然体験や子どもたちの探索を主題としたキラリスポットに設定する。



## キラリスポット2 ニヶ領用水～灰吹屋 <まちづくりの拠点>

ニヶ領用水や大山小径などの水と緑の資源、灰吹屋、岩崎酒店、稲毛屋蔵等の歴史的資源など、計画の範囲の中で最も資源の集積する中心的な場所である。大山街道ふるさと館や高津こども文化センターなどの公益施設も位置する。

また、この辺りは大山街道が緩やかに曲がっており、古い街道を思わせる景観的な要素をもっている。



### キラリスポット3 タナカヤ呉服店、溝口緑地付近 <みどりと文教>

溝口緑地や高津図書館が位置し、みどりと文教の資源が集積する。

また、タナカヤ呉服店等の歴史的建造物も位置する。



### キラリスポット4 光明寺付近 <学びの場の復活>

光明寺には昔、二子学舎(明治7~9年)あり、コミュニティの拠点であった。周囲には、新しい個性的な店舗が見られ、今後、新たなコミュニティの拠点となることが期待される。

また、付近には二子二丁目公園と礎石、大貫家跡がある。



## キラリスポット5 二子神社とかの子碑 <回遊性の拠点>

二子神社と岡本かの子文学碑がある。

西の料亭やよいの付近は、昔の三業地のなごりを残し、東には二子新地駅が位置する。回遊性の拠点としても大切な場所である。

